

7 専門科目（花き経営学科）

科目名	先進農家等留学研修	区分	専門科目	単位	5	総時間	225
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	先進的な農業を実践している農業者・農業法人の経営や技術、生活を実際に体験することにより、農業に対する取組や考え方を直接肌で感じ取り、豊かな農業観や職業観を学ぶ。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 実施計画		(1) 実施計画の作成			2週間	
	2 研修		(1) 実施計画に基づく研修の実施				
使用テキスト		無					
参考図書		無					
評価の要素		学習態度、課題提出					

科目名	経営研修	区分	専門科目	単位	2	総時間	90
学 科	全経営学科共通			学 年	1～2		
到達目標	県内外の先進的な取組や流通・販売、さらには関係機関や施設等を見学することにより農業に関する幅広い知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 県内研修		(1) 各学科で企画し実施			3日	
	2 県外研修		(1) 各学科で企画し実施			2日	
	【選択1】 3 企画研修		(1) 学生が企画立案し実施			3日	
	【選択2】 4 海外農業研修		(1) 海外の農業経営等を調査			7日	
使用テキスト	無						
参考図書	無						
評価の要素	学習態度、課題提出						

科目名	花き生産概論	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	花き経営学科			学 年	1		
到達目標	花き全般に関する生育や環境、開花、繁殖、利用などの基礎知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 花卉園芸の特色		(1) 園芸と花卉、花卉の分類			1	
	2 形態と成長		(1) 生活環と形態			2	
			(2) 発育生理			3	
			(3) 開花生理			4	
	3 育種と繁殖		(1) 育種			5	
			(2) 繁殖			6	
	4 生産技術と環境管理		(1) 苗の育成			7	
			(2) 開花・生育調節			8	
			(3) 養水分管理			9	
			(4) 環境調節と省エネルギー技術			10	
			(5) 病虫害防除			11	
	5 品質と利用		(1) 色と香り			12	
			(2) 品質保持			13	
			(3) 花卉園芸の新しい利用			14	
使用テキスト	『新版 草花栽培の基礎』農山漁村文化協会、配付資料						
参考図書	『花卉園芸学の基礎』農山漁村文化協会						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	花き栽培各論	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	花き経営学科			学 年	1		
到達目標	本県における主要花き品目の生理生態及び栽培管理技術の知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 キク		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			1～2	
	2 宿根カスミソウ		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			3～4	
	3 リンドウ		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			5～6	
	4 トルコギキョウ		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			7～8	
	5 シクラメン		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			9～10	
	6 枝物類		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			11	
	7 その他(球根類、低温開花性花き、 花壇用苗物 等)		(1) 生育・生理生態の特徴、栽培管理			12～14	
使用テキスト	『新版 草花栽培の基礎』農山漁村文化協会、配付資料						
参考図書	『花卉園芸学の基礎』農山漁村文化協会						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	花き経営各論	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	花き経営学科			学 年	2		
到達目標	花き経営を行う上で必要な実践的な知識について理解する。						
	大項目 (単元)	(小項目) (教授内容)				回	
	1 花きの動向とマーケティング	(1) 花きの動向、流通、消費、販売戦略、日持ち性 (2) 先進事例、過去の卒業論文等の研究、ゼミ				1～2 3～4	
	2 作付け計画作成	(1) 施肥設計、農薬の散布量の計算、収量計算、栽植密度計算、ほ場図作成、経済性評価				5～14	
使用テキスト	『切り花の日持ち技術』農山漁村文化協会、配付資料						
参考図書	『新版 草花栽培の基礎』農山漁村文化協会						
評価の要素	課題提出、学習態度						

科目名	フラワー装飾演習	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	花き経営学科			学 年	1		
到達目標	現在のトレンド(流行)や消費者の志向を把握し、生産に反映させる。また、色彩や現在のライフスタイルに適応した花の飾り方を学び、感性を高める。						
	大項目 (単元)	(小項目) (教授内容)				回	
	1 花き生産・販売の傾向と対策 ミニアレンジ実習	(1)トレンド(流行)を知る (2) 花き生産の方向性と店舗経営 (3) アレンジの基本				1～2	
	2 花き加工実習(アレンジ)	(1) 花きの付加価値を高める技術(アレンジメントとラッピング)				3～4	
	3 冠婚葬祭と花き	(1) 冠婚葬祭と花きのかかわり (2) 効率的生産と販売				5～6	
	4 花き加工実習(ブーケ)	(1) 冠婚葬祭において花きのトレンドと付加価値を高める(ウェディングブーケ)				7～8	
	5 ショップシミュレーション	(1) 目的別の花選び (2) 接客演習				9～10	
	6 インテリアとしての花きと販売 インテリアアレンジ実習	(1) 色彩やインテリアとしての花き				11～12	
	7 花き加工実習(ドライフラワー)	(1) 廃棄率削減とインテリア的使用を考えた加工(ドライフラワーのアレンジ)				13～14	
使用テキスト	『フラワーデザイナーのための花の教科書』日本フラワーデザイナー協会						
参考図書	無						
評価の要素	課題提出、学習態度、出席						